

The background features several hot air balloons in various colors (red, yellow, blue, green, black) floating against a blue sky with white clouds. The scene is framed by large, light blue puzzle pieces that appear to be floating or falling into place.

第27回 日本自閉症協会全国大会 佐賀大会

だれもが自分らしく
ありのままに生きていける
社会を目指して

～自閉スペクトラム症の理解から考える～

日時 令和4年(2022年)

10月8日(土)・9日(日)

8日 12:00 受付開始
12:30 開会

9日 13:00 閉会

会場 **佐賀市文化会館** 佐賀市日の出
1-21-10

[参加費]

会 員5,000円

一 般6,000円

主催 一般社団法人日本自閉症協会
佐賀県自閉症協会

協力 九州自閉症協議会





第27回日本自閉症協会全国大会 佐賀大会プログラム

開催にあたって

これまで福祉、医療、教育など様々な制度が整備されてきましたが、強度行動障害、虐待や差別、不登校やひきこもり、就労、親亡き後の生活など今なお多くの課題が存在しています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で、社会そのものが大きく変わっていく中で、これまで以上に課題は複雑化し、早急な対応が求められています。

自閉スペクトラム症・発達障害のある人たちや家族、そして支援者や地域の人たちだれもが“その人らしさ”を尊重され、地域で豊かに暮らすために自閉スペクトラム症の正しい理解と適切な支援の充実に向けこの大会を開催します。

どなたでも参加できる大会です。みなさまのご参加をお待ちしています。

大会1日目

令和4年10月8日(土)

開会式 12:30~13:00

行政説明 13:00~14:00

講師 ◆文部科学省 ◆厚生労働省

～休憩～

基調講演 14:15~15:45

「ASDとトラウマ:その複雑な病理と治療」

講師 ◆杉山 登志郎氏

福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

～休憩～

対談 16:00~17:30

「こだわりがあるから楽しさがある」

進行 ◆貞包 由紀子氏

それいゆ西部地域支援センター長

講師 ◆内山 登紀夫氏

福島学院大学 教授
よこはま発達クリニック院長 日本自閉症協会副会長

「こだわることと、うつろいやすさ。
それぞれの楽しみ」

◆本田 秀夫氏

信州大学医学部附属病院
子どものこころ診療部 診療教授 日本自閉症協会理事

「著しく限局した強い関心とそれ以外への無関心を
特徴とする精神科医Hの生態」

情報交流会 18:30~20:30

ホテルマリターレ創世 佐賀市神野東2-5-15
大会会場より徒歩10分

大会2日目

令和4年10月9日(日)

シンポジウム 9:00~11:00

「その人らしい豊かな暮らしのために」

～自閉症の理解とこれから必要な事、できること～

座長 ◆日詰 正文氏

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設
のぞみの園 総務企画局 研究部部長 日本自閉症協会理事

シンポジスト ◆陣内 清氏

佐賀県 健康福祉部 障害福祉課長
「佐賀県における発達障害支援への取り組み」

◆井上 雅彦氏

鳥取大学大学院医学系研究科 教授
日本自閉症協会常任理事
「ASDのある子どもにとっての理想の学校・学びとは」

◆今本 繁氏

合同会社ABC研究所 代表
「成人期を見据えた幼児期・学童期の療育」

◆會田 千重氏

国立病院機構肥前精神医療センター 療育指導科長
「自閉症と強度行動障害の医療を考える」

◆吉永 菜穂子氏

それいゆ佐賀地域支援センター長
「ASDの方々の成人期の支援」

～休憩～

講演 11:20~12:30

「だれもが自分らしく、
ありのままに生きていける社会を目指して」

講師 ◆野澤 和弘氏

植草学園大学 副学長
発達教育学部発達支援教育学科 教授

閉会式 12:30~13:00

※令和4年8月より申し込みを開始いたします。

問い合わせ/佐賀県自閉症協会 TEL080-6423-2066

✉ saga_autism00@yahoo.co.jp